

第 11 回 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 緩和ケア部会 議事要旨

日時：2023 年 12 月 8 日（金） 13:00～15:00

開催形式：オンライン会議システムを利用

令和 5 年 12 月 8 日都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 緩和ケア部会（第 11 回）が国立がん研究センターの主催によりオンラインで開催された（資料：議事次第）。全国の都道府県がん診療連携拠点病院の緩和ケア部門の責任者および実務者、各都道府県の緩和ケア関連会議の責任者が出席した。

冒頭、国立がん研究センター副がん対策研究所長 井上真奈美より、がんと診断された時からの緩和ケア推進という観点から、第 4 期がん対策推進基本計画に沿った取組みや連携の展開を効果的に実現するため、緩和ケア担当者の皆様での情報共有および意見交換をしたい旨、挨拶がなされた。以降、議事次第に沿って、国立がん研究センター中央病院緩和医療科長 里見絵理子が議事を進行した。

まず、厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課 糸谷涼様より、第 4 期がん対策推進基本計画の分野別施策と個別目標、取り組むべき施策に関する紹介がなされた（資料 1）。

次に、国立がん研究センター東病院精神腫瘍科長 小川朝生より、第 4 期がん対策推進基本計画における緩和ケア領域のロジックモデルについて（資料 2）、洛和会音羽病院緩和ケア内科部長 山代亜紀子先生より、難治性疼痛等への対応に関する連携について（資料 3）、岐阜県立多治見病院緩和ケア内科部長 伊藤浩明先生より、緩和ケアにおける介護施設との連携の取り組みの紹介について（資料 4）、国立がん研究センター中央病院緩和医療科長 里見絵理子より、専門的がん疼痛治療に関する地域連携のためのコンサルテーションについて（資料 5）、それぞれ紹介がなされ、意見交換がなされた。

おわりに、国立がん研究センターがん対策研究所がん医療支援部長代理 鈴木達也より、本日の部会のご質問等あれば事務局までお寄せいただく旨をお伝えし、閉会となった。